

学校だより

11月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成三十年十月三十一日

愉快的活躍

校長 加納 一好

学芸会が近付いてきました。練習する声が体育館から聞こえてきます。子供たちの演技や歌も上達しています。衣装や小道具の用意など、ご協力をいただいていることと思います。ありがたうございます。当日も様々な制約があり、ご無理をおかけしますが、どうぞよろしくお願いたします。

さて、白金小の子の大活躍が聞こえてきたのでご紹介いたします。本校の三年生五人が「フリーストロジック杯第三十三回オール学生将棋選手権戦」に出場し、大活躍しました。この大会は五人そろえば、小学生でも出場することのできるオープン大会ですが、参加六十四チームのほとんどは大学生チームで、中学生チームと高校生チームは数チーム、小学生チームは本校だけだったそうです。しかも三年生。普通に考えれば勝負になりません。『将棋世界 十一月号』から引用します。「初戦で強豪の東京大学Aに完敗したが、『残りの全部勝ちたい!』と元気な様子。続く二回戦では四勝一敗で初白星をあげた。三々五回戦は敗れたものの、善戦した将棋も多く、最終的に七勝十八敗と立派に渡り合った。ダンツツの最年少チームで、これからは楽しみだ。」強豪の東京大学には負けたものの、なんと中学生チームに勝ってしまいました。さらに高校生相手に三勝をあげています。将棋クラブなどで練習する相手に対してです。長机にパイプいすで、普通に座つたら見えないような、あどけない小学生が大学生相手に強い将棋を指してびっくりさせる。そんな光景を想像すると愉快になります。賞状をいただいたので朝会で紹介しましたが、小学生の大会での活躍だと勘違いしていたので、先日もう一度紹介しました。将棋が強い子はたまにいますが、五人もいることが驚きです。今回は出場しませんでした。将棋仲間はまだいるそうです。世界オセロ選手権でも日本人の小学五年生が優勝しました。これからもこの五人とその仲間が切磋琢磨し、さらに強くなつて、白金小にいるうちに優勝してほしいと思います。

合唱団は十月七日にNHKホールで開催されたNHK全国学校音楽コンクール全国コンクールで、素晴らしい演奏をして銀賞をいただきました。銀賞は三年連続です。これも快挙です。六年生は連合運動会で、立派な成績をたくさん残してきました。本校の子供たちは伸ばせば大活躍する力をもっています。その力を発揮させる、出し切るための精神力が必要で、これからも真剣にがんばろうとする気持ちを育てていきたいと思つています。学芸会もそのきっかけの一つにしたいと思います。

学芸会について

学芸会委員長 伊藤 めぐ美

「平成最後の学芸会

心をついに 白金だましい 届けよう」

平成最後の学芸会です。今年度はこのスローガンを掲げて学芸会を行います十一月九日(金)、十日(土)に体育館にて行います。

「平素の学習活動の成果を発表し、その向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりする活動」として位置付けられる学芸会。一つの作品を作り上げる中で、児童一人一人の自主性・協力・責任感の実践的態度の育成を目的としています。

初めての学芸会、最後の学芸会、様々な想いをもつてそれぞれの学年が練習に取り組んでいます。初めは自分の台詞すら曖昧だった子供たちは、何度も練習を重ねることにより、他の役の台詞まで覚えしまします。そして、役になりきつて、動きをつけ、見違えるほど上手になります。大人になつても覚えていられる方も多いのではないのでしょうか?今子供たちと学芸会の練習をするこの時間が、生涯の記憶に残るものになるのかもしれない。そう考えると、一層目の前の子供たちへの指導に力が入ります。

今、まさに学芸会へ向けてラストスパートです。衣装の準備など、たくさんご協力ありがとうございます。当日まで体調管理に気を付けて、全員で心一つにそれぞれの学年の舞台を完成させたいです。

平成最後の学芸会が、大成功するよう残りの時間一杯指導していきます。見どころ満載の学芸会。子供たちのきらきら輝く姿をご期待ください。

ふれあい(いじめ防止強化) 月間

生活指導主任 伊藤 美由紀

十一月は今年度二度目となるふれあい月間です。ねらいは、次の二点です。

- ①児童一人一人が自ら進んで、友達や他学年の児童に対して思いやりのある言動がとれるようになること
- ②学級・学年・学校の一員としての自覚を高め、健全で豊かな心を育むこと

今年度、小学校でいじめと認知された件数は、増加傾向にあり、特に低学年の増加がみられると報道されてきました。

本校では、未然にいじめを防ぐために毎月アンケートを実施しています。今月のアンケートは、悩みなどがある場合には、自分が話をしたい先生を選び、SOSを発信しやすいようにします。また、四年生以上は、ハイパーQ Uも実施します。

担任による全員面接を実施し、いじめに発展しそうな小さな芽も見逃さないように、その後の様子を見守るようにします。

今回も、各学級でふれあい標語を考え、全校朝会で発表します。標語作成の活動を通して、思いやりの心や豊かな心について考えさせます。

児童がよりよい学校生活を送ることができるよう、引き続き身を引き締めて見守っていききたいと思います。

